

投稿規程

平成04年07月08日	制定
平成05年06月30日	改定
平成11年11月26日	改定
平成13年02月09日	改定
平成13年06月12日	改定
平成15年09月20日	改定
平成17年09月21日	改定
平成19年02月23日	改定
平成25年02月15日	改定
平成26年07月31日	改定
平成27年11月06日	改定

日本柔道整復接骨医学会誌（英文名：Journal of Judo Therapy）は、一般社団法人日本柔道整復接骨医学会の機関誌であり、柔道整復学関連領域の投稿を受付ける。投稿論文は未発表で、未投稿のものに限る。

I. 投稿資格

本誌への投稿論文の主著者および共著者は、本会の会員に限る。

II. 投稿原稿の種類

投稿原稿は以下とし、柔道整復学の進歩に寄与するものとする。

- 〈原著〉：新規かつオリジナルであることが学会誌編集委員会において認められたもの。
内容が新しい情報、理論の提示を通して独創性を主張できるもの。
明確な研究結果として一定の結論を得たもの。
- 〈総説〉：柔道整復学およびその領域にかかわる主題に関して、多くの研究論文を網羅して体系的にまとめ、考察したもの。
- 〈研究報告〉：独創性を問うものではないが、特に柔道整復学の領域において有用、かつ意義があるもの。
- 〈症例報告〉：症例の臨床経験に基づいた研究をおこなって考察が得られたもの。
- 〈研究資料〉：柔道整復、またはそれに関する資料を主に情報を提示したもの。
- 〈短報〉：内容は原著に近いが、短く結論の速報として書いたもの。
- 〈治療技術〉：治療技術において客観的情報を示し、オリジナル性の高いもの。
- 〈その他〉：柔道整復に関する多方面からの記事を含み、会員の質的向上に貢献できるもの。教育講座、報告、書評等。

III. 原稿規程

投稿する論文は、以下の通りに作成すること。

1. 原稿の形式

原稿はA4版白紙に12ポイントを使用。本文は40字×40行に設定し、横書きとすること。和文はMS明朝体を、欧文はTimes New Romanを使用すること。

和文の場合は、かなづかい、口語体、ひらがなの横書きとし、漢字は原則として、常用漢字とする。句読点は、全角ピリオド(。)および全角コンマ(、)を使用すること。

原稿はMS Word等のワープロソフトで作製し、リッチテキスト形式(.rtf)で保存したものとし、投稿時のファイル名は、会員番号の下5桁とすること。

2. 原稿の体裁

以下の順に記述し，ページ数を記載すること。

「和文」

1) 論文タイトル

2) 和文抄録

(1) 要旨（600字以内）

目的，方法，結果，考察を簡潔にまとめること。

(2) キーワード（5個以内）

3) 本文（原則として以下の順に記述する）

(1) 緒言（はじめに，序文）

(2) 対象および方法（研究方法）

(3) 結果

(4) 考察

(5) 結語（おわりに）

(6) 謝辞（必要があれば記載する）

(7) 引用文献

(8) 図・表および図表の説明文

4) 英文抄録（原著，研究報告，症例報告，短報にのみ添付）

(1) Abstract（400語以内）

(2) Key words（5個以内）

※投稿原稿には，著者名・所属機関名・連絡先などを記載しないこと。

「英文」

1) Title

2) Abstract（maximum of 400 words）

3) Key words（maximum of five）

4) Text

(1) Introduction

(2) Materials and methods

(3) Results

(4) Discussion

(5) Conclusion

(6) References

(7) Tables and figures

5) 和文タイトル

6) 和文抄録（600文字以内）

注）英文にて論文を投稿する場合には，予め，学会誌編集委員会（hensyu@jsjt.jp）まで連絡すること。

また，専門家の native check を必ず受け，その証明書を学会誌編集委員会まで提出すること。

※投稿原稿には，著者名・所属機関名・連絡先などを記載しないこと。

3. 枚数

投稿原稿は「本文」, 「引用文献」, 「図・表および図表の説明文」を含めた合計文字数が, 下記の規定文字数を超過しないこと。(1 ページは 1,600 字とする)

- 1) 原著, 総説, 研究報告, 研究資料は 9,600 字 (6 ページ) 以内
- 2) 症例報告, 短報は 6,400 字 (4 ページ) 以内
- 3) 治療技術, その他は 1,600 字 (1 ページ) 以内
- 4) 図・表は 1 つを 400 字として計算すること。

	和文抄録	本文	英文抄録
* 原著・総説・* 研究報告・研究資料	600 字以内	9,600 字 (6 ページ) 以内	*400 語以内
* 症例報告・* 短報	600 字以内	6,400 字 (4 ページ) 以内	*400 語以内
治療技術・その他	—	1,600 字 (1 ページ) 以内	—

* 原著・研究報告・症例報告・短報には 400 語以内の英文抄録を添付すること。

4. 引用文献

- 1) 引用文献は主要なもの 20 件以内とすること。
- 2)本文中で引用文献に言及した場合, 文章の右肩に末尾の引用文献にならう番号をつけること。
- 3) 末尾文献の順序は本文中の引用順に番号をうち, 整理したうえで本文中の番号と照合すること。
- 4) 雑誌の場合, 著者名. 論文名. 雑誌名. 出版年, 巻数(号数), ページ(最初-最後). の順とすること。
例 1) 池田均, 橋本卓, 金谷整亮, 塚西茂昭, 信原克哉, 他. 不安定性肩関節症における X 線計測. 肩関節. 1990, 14 (2), 249-252.
例 2) McLaughlin HL, Cavallaro WU. Primary anterior dislocation of the shoulder. The American Journal of Surgery. 1950, 80, 615-621.
- 5) 単行本の場合, 著者氏名. 書名. 版表示, 出版地, 出版者, 出版年, ページ (最初-最後).
例 3) 信原克哉. 肩-その機能と臨床. 第 3 版, 東京, 医学書院, 2001, 416-417.
- 例 4) Andrews. Physical examination of the shoulder in throwing athletes. Injuries to the throwing arm Zarins B, et al, eds. WB Saunders, Philadelphia, 1985, 51-65.
- 6) 引用文献の著者氏名が 6 名以上の場合は最初の 5 名を書き, その他は, 他 (ほか), または et al. とすること。
- 7) 和文は全角コロン「:」, ピリオド「.」, カンマ「,」で区切ること。欧文は半角コロン「:」, ピリオド「.」, カンマ「,」で区切り統一すること。
- 8) 電子文献を引用する場合は, URL. 参照日付を記載すること。
例) <http://www.nih.go.jp/niid/MRBP/index.html>. [accessed 2008-09-19]

5. 図・表

- 1) 本文に示した順に掲載すること。
- 2) 図表の番号・タイトルや説明は, 図では「下」に, 表では「上」につけること。
- 3) 図および表の解像度は, 300dpi 以上の画像で, jpeg 形式で保存すること。
- 4) 編集の都合上, 若干の変更を加えることがある。

- 5) 商業誌等から図表を引用する場合は、著作権を有する出版社等に著者が確認すること。
6. 英文抄録（原著，研究報告，症例報告，短報にのみ添付すること）
 - 1) 英文は専門家のチェック (native check) を受け，論文投稿時に提出すること。
 - 2) 英文タイトルは各単語の頭文字を大文字で，2文字目からは小文字とすること。
 - 3) 英文抄録は 400 語以内とすること。
7. 用語
 - 1) 文中の章，節，項における数字の用い方は以下の順とすること。
 - I. II. III. …
 1. 2. 3. …
 - 1) 2) 3) …
 - (1)(2)(3)…

※①②③の数字は使用しないこと。
 - 2) 専門用語以外は常用漢字，新かなづかいを用いること。
 - 3) 数量の記号は国際単位系を用いること。（JIS Z 8203：国際単位（SI）およびその使い方，日本規格協会発行参照）

例：長さ nm, μ m, mm, cm, m, km など

質量 pg, ng, μ g, mg, g, kg など

体積 μ L, mL, L, あるいは mm^3 , m^3 など

温度 $^{\circ}\text{C}$, $^{\circ}\text{K}$ など

時間 s (秒), min (分), h (時間) など

※ユニット記号は使用しないこと。
 - 4) 数字は算用数字，符号は慣用のものを用いること。
 - 5) 特殊な単位，符号，略号には必ず簡単な説明を加えること。
 - 6) 固有名詞は原語を用いること。例) モンテギア骨折 → Monteggia 骨折

IV. 倫理規程

臨床研究による投稿論文は「ヘルシンキ宣言」を遵守したものであること。また，患者のプライバシー保護に関する規程を遵守すること。

1. 研究内容の倫理に関する規程

研究内容や方法が倫理的に不適切であると学会誌編集委員会が判断した場合は，受理しないことがある。

2. 患者プライバシー保護に関する規程

- 1) 患者個人を特定できる項目（氏名，イニシャル，住所等）は記載しないこと。
- 2) 顔写真を提示する場合には目を隠し，プライバシー保護に努めること。
- 3) その他，患者個人を特定できる可能性がある項目は記載しないこと。
- 4) 以上の配慮をしても個人が特定される可能性がある場合には，発表に関する同意を患者自身（または遺族，代理人，保護者）から書面で得て保存すること。

3. 画像写真等に関する規程

X線写真等を用いる場合には、必ず同意した医師名を記載すること。但し、主著者および共著者に医師が含まれている場合はこの限りではない。

4. 動物を用いた研究に関する規程

動物実験を行った場合には、その実験機関で定められた動物実験指針に沿って行うこと。また、その旨を本文中に記載すること。

V. 投稿原稿の採択

投稿された原稿の採択は以下の通りに行う。

1. 投稿規程および本学会の趣旨にそぐわない投稿原稿は、学会誌編集委員会の判断により理由を明記のうえ、学会誌編集委員長名で返却する。
2. 原稿掲載の採否は、2名の校閲者の査読を受けた後、学会誌編集委員会において決定される。
3. 学会誌編集委員会は査読の結果を踏まえ、原稿中の用語、語句表現などの修正を求めることができる。また、原稿内容について修正を要するものはコメントをつけて書き直しを求める。
4. 投稿原稿の採否および掲載順は学会誌編集委員会で決定する。
5. 著者校正は2校までとし、学会誌編集委員会が指定した期日内に必ず返送すること。校正の際には著しい改変、組み替えなどを行わないこと。

VI. 別刷

別刷の料金は全額著者負担とする。(50部：5,000円程度を別途著者に請求する)

別刷を希望する場合には論文投稿時に、学会誌編集委員会宛の連絡欄にて希望部数を記載すること。また、PDFファイルを希望する場合にもその旨を記載すること。

VII. 著作権

本学会誌に掲載された著作物の著作権は、一般社団法人日本柔道整復接骨医学学会に帰属する。共著作の場合も著者全員の同意のもとに、完全な譲渡の自由を有するものであること。

VIII. 原稿の提出方法

原稿の投稿は電子投稿に限る。

※電子投稿では、機種依存文字または環境依存文字に注意すること。

投稿原稿は、本学会ホームページ (URL <http://www.jsjt.jp/>) にアクセスし、トップ画面の左窓の関連先リンク内「日本柔道整復接骨医学学会誌電子投稿システム」でユーザー登録を行った後、電子投稿の方法を参照し、指示に従って投稿すること。